

フジコーポレーション

フジ式循環システムで特許

廃棄物の最終処分場などを運営するフジコーポレーション（山口幸男社長・佐久市小田井）は昨年末、最終処分場で実施している「フジ式循環システム」の特許を取得。県の「廃棄物の適正な処理の確保に関する条例」の事業計画協議終了の第1号となった。

これに伴い、同社の処分場周辺の小諸市御影区や佐久市小田井区など、周辺11自治区や7団体などは、「地域住民との合意形成を図り、周辺地域の生活環境に配慮した安心な処理施設が確立され、厳しい排水基準を満たした放水流によって、動植物にとって良好な環境保全が確保できた」として、同社に感謝状を贈った。

同社の最終処分場は「フジ式直壁型」と呼ばれ、廃棄物として受けたものを、資源として地域へ還元するシステム。同社の山口藤吉

郎会長は、「地域から感謝状をいただき、大変うれしい」と喜び、「安心の環境を提供するため、当社のすべての情報をあますことなく公開し、地域から信頼を受けることができ、結果ではないか。今後、同じように環境保全に取り組む仲間を増やしていきたい」と話していた。

